

『乳幼児教育・保育者養成研究』第6号 原稿募集

1. 応募資格（『乳幼児教育・保育者養成研究』投稿規程に基づく）
2. 原稿提方法（『乳幼児教育・保育者養成研究』投稿規程に基づく）

原稿締め切り 令和7年10月31日（消印有効）

- (1) 著者名、論題と英文タイトル、約400字の和文要旨（もしくは約200語の英文要旨、5つのキーワードを記載の上、郵便（1部）とEメール添付ファイル（PDF ファイル）によって、完全原稿を本学会編集委員会（下記の提出先）宛に提出すること。
- (2) 詳細については、「投稿規程」第7条（投稿要領）を参照
- (3) 投稿原稿の掲載の可否は、本学会誌編集委員会は選定した査読者（各論文に対し2名）による厳正な査読を経て、本学会誌編集委員会の審議により決定する。本学会誌編集委員会は理事会の選出による。
- (4) 執筆者による校正は初校の1回とし、再校以降は本学会編集委員会が行う。校正段階での大幅な変更や書き加えは認められない。また各校正の期限は、随時、編集委員会が指定する。
- (5) 第6号では、従来の自由論文投稿と、特集テーマ「保育と記録」の論文投稿の2種類の投稿がある。特集テーマを選んだ場合は、そのことが分かるように明記。

※学会誌第6号特集テーマ「保育と記録」の趣旨は以下の通り。

質の高い幼児教育・保育のために、保育現場にはさまざまな記録がある。保育者は、日々記録を通して自らの保育を省察し、次の保育に向かう。一方、保育を記録することに困難を感じることもある。自らと向き合うことの難しさ、記録を書く時間の確保、文章表現への悩みなど、それぞれが保育の記録に思うところがあるだろう。保育者の養成においては、実習の記録の問題もある。ICT か手書きかといった議論は、AI の隆盛によって論点が変わりつつある。また写真を付けた実習記録の取組が広がるなど、記録の様式についても多様化しつつあると言えるだろう。以上の趣旨を踏まえ、保育現場や養成校における記録に関して、多様な視点から投稿されることを期待している。

学会誌編集委員会：お問い合わせ及び論文送り先：

Eメール添付ファイルの提出：j.ecectet@gmail.com

郵送にて提出の送付先：〒780-0955 高知県高知市旭天神町 292-26

高知学園短期大学 幼児保育学科教授 山下 文一（学会事務局長）

なお、お問い合わせはできる限りメールにてお願い致します。
